

年末年始等における 防疫対策の徹底をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザについては、韓国において、家きん農場でのH5N6亜型ウイルスによる発生が増加しています。また、アフリカ豚熱および口蹄疫等は、日本の近隣諸国での発生が継続または拡大しています。特にアフリカ豚熱は、日本と台湾を除くアジアで継続的に発生しており、日本への侵入リスクが高い状況です。

これから年末年始および春節時期を迎え、人や物の動きが活発になることが予想されます。現在日本で流行していない家畜伝染病の侵入防止対策を徹底する必要があります。

農場におかれましては、引き続き防疫対策の徹底をお願いします。

～防疫対策の徹底をお願いします～

- 1 海外(アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域)への不要不急の渡航は自粛
- 2 日本への持ち込みが禁止されている肉製品について周知徹底(外国人従業員(技能実習生含む)を受け入れている農場)
- 3 飼養衛生管理区域への病原体の侵入防止
 - ・ 人・車両・物品の衛生対策(洗浄・消毒の徹底)
 - ・ 農場・家きん舎で専用の衣服・長靴を着用
 - ・ 野生動物の侵入防止対策(家きん舎や防鳥ネットの点検・修繕)
- 4 家畜の健康観察を毎日行い、異状を認めたときは、速やかに家畜保健衛生所へ連絡

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111 (内395) FAX : 0573-25-7669

※時間外の場合は警備室0573-26-1114へ

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの発生を踏まえた発生予防対策について

高病原性鳥インフルエンザは、現在全国的に多数の野鳥の感染事例が確認されています。また、家きん農場においてはこれまでに4県4事例の発生が確認されています。

このような状況を踏まえ、現状および今シーズンの発生事例における現地調査での情報等を踏まえた今後の発生予防対策に関する提言が取りまとめられました。

発生予防対策について、特に下記事項の徹底をよろしくお願ひします。

- 裏口を含むすべての出入り口で家きん舎に入る前の長靴交換、衛生管理区域専用の衣服および長靴の着用
外部事業者の衛生対策も農場側で管理・指導
- 少なくとも1日1回の消毒槽の交換を含む、日頃の消毒
消毒効果は、濃度、作用時間、温度、有機物の存在等に影響を受けることに注意
- 隙間がないように思われる家きん舎でも、客観的に再度確認して野生動物侵入対策を行う
鶏舎の壁および天井の隙間の有無について定期的かつ継続的な点検
- 小動物・野鳥を誘引しないように死亡家きん、廃棄卵、および排泄物の適切な処理等、飼養衛生管理の徹底
特に野生動物の家きん舎への侵入防止のため、夜間に鶏卵運搬口および鶏糞搬出口を封鎖
- 早期発見・早期通報の徹底
毎日の健康観察および異状を認めた際の早期通報